

大学院トピックス

ホームページリニューアル
本学ホームページをリニューアルいたしました。URL <http://www.jigyo.ac.jp/>

1 TOPページリニューアル

知りたい情報のページに移動しやすいようにTOPページにメニュー一覧を表示しました。
また、特に注目してほしい項目については、バナーで表示いたしました。

2 “教員ブログ”スタート

教員による各専門分野の最新情報などを掲載する“教員ブログ”がスタートします。随時掲載いたしますので、ぜひチェックしてください。TOPページからご覧いただけます。

3 “メルマガ”スタート

本学の最新情報や客員教授特別講義・大学院説明会などの情報を発信いたします。

メールアドレスを登録していただいている方へは引き続き配信させていただきます。

なお、TOPページからの新規登録も可能ですので、周りの方でご希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひ本学メルマガをご紹介ください。

大学院説明会情報

大学院説明会日程

新潟キャンパス	平成19年 12月 8日(土)
	平成20年 1月26日(土)・2月23日(土)
東京キャンパス	平成19年 12月15日(土)
	平成20年 1月26日(土)・2月23日(土)

※各日13:30～15:30(13:00受付開始)

※時間については変更となる可能性があります。もし変更となる場合は、お申込みいただいた方にご連絡すると共に、ホームページにてお知らせいたします。

●プログラム内容

個別相談会や本学概要説明、専任教員紹介、在学生メッセージ等を予定しております。

参加申し込み方法

大学院説明会に参加ご希望の方は必ず、住所、氏名、電話番号を明記の上、ホームページ、e-mail、FAXにてお申込みください。

〈ご都合により大学院説明会に参加できない方へ〉

随時大学院説明会を行っています。個別に日程を調整いたしますので、ご希望の方は、お気軽に本学へお問い合わせください。

↓ 本学への資料請求やお問い合わせはこちらへお願いします。

※大学院説明会・特別講義への参加・大学院案内パンフレット・募集要項をご希望の方は必ず、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記の上、ホームページ、e-mail、FAXにてお申し込みください。

URL ホームページから <http://www.jigyo.ac.jp/>✉ e-mailから info@jigyo.ac.jp

☎ FAXから 025-255-1251

☎ 本学に関する問い合わせ 0120-250-171



事業創造大学院大学

〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山3丁目1番46号
TEL: 025-255-1250 FAX: 025-255-1251
《東京キャンパス》東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階
《長岡キャンパス》新潟県長岡市弓町18-37

社会と大学院を結ぶ情報誌

2007
vol.5事業創造大学院大学通信
Press通巻
第9号

Published by Graduate Institute for Entrepreneurial Studies

・contents・

表紙 特集:海外視察報告 p.2 学生ボイス p.3 客員教授特別講義
p.4 インフォメーション:大学院トピックス、イベント情報等2007年12月1日発行
編集・発行
事業創造大学院大学
広報委員会・事務局【バックナンバー】
広報誌「J-Press」のバックナンバーは、
本学ホームページからダウンロードできます。

海外視察報告

special issue

グローバルなネットワークの構築に向けて

富山 栄子 TOMIYAMA, Eiko

准教授
担当科目:新興市場マーケティング戦略

東京外国語大学外国語学部(ロシア語学科)～新潟大学大学院現代社会文化研究科博士課程修了
新潟地方裁判所ロシア語法廷通訳などに従事後、新潟大学他非常勤講師
マーケティング論、現代ビジネス論他を担当。
ロシア・東政学会、日本商業学会会員、経済学博士

事業創造大学院大学が所属するNSGグループはアメリカ、中国、韓国、フランス、ロシア等15ヶ国83校(2007年6月現在)の大学等と協力関係を結んでいる。現在、事業創造大学院大学にもイギリス、ベトナム、中国、台湾、ロシア出身の院生が学ぶ。彼らは非常に勉強熱心で、するどい質問やコメントにはいつも感心している。こうしたNSGグループの世界的なネットワークを背景に、今年5月、ロシアのサンクトペテルブルグ対外関係経済法律大学本校、同10月下旬に、同ハバロフスク校と極東国立体育大学から招待を受け、サンクトペテルブルグとハバロフスクを訪れた。以下に簡単に報告する。

サンクトペテルブルグは人口485万人を抱えるロシア第2の大都市である。フォード、トヨタ、GM、日産、スズキが次々と現地生産を開始する予定だ。日本センター山本博志所長によると、日本センターの日本語講座は毎年50人の定員に対して400人も人が応募してくるほどでその日本語レベルは非常に高いという。サンクトペテルブルグには日本食レストランが300軒以上あり、高級レストランでは、一人200ドルくらいが相場場で、鮮魚はスウェーデン、オーストラリア、アメリカなどから輸入されているそうだ。日本食ブームで、日本の食器がよく売れていたうえ、一丁3万円の「関」の包丁が一般人にも大人気であるという。茶の文化も普及し、お茶会、お茶のサークル、お茶の喫茶店が多く、さくらもちなどの生菓子を製造販売していた。まさに日本ブームである。

ハバロフスクではハバロフスク校グロモワ学長から、モスクワ郊外にあるオディンツォボ人文大学の副学長のユーリコヴァ教授を紹介していただいた。同大学はモスクワから20キロの所に位置し、ロシアの国の幹部などの富裕層が

多く住む地域で非常にリッチな私立大学である。すべての講義は英語で行われ、教授陣の平均年収は日本のはるか上であることがわかった。今、ロシアはすさまじい速さで変化している。こうしたモスクワをも巻き込んだネットワークの構築は、今後、企業のビジネス展開にも役立つと感じた。また、ハバロフスク校は中国の黒龍江省にあるジャムス大学と、様々なスポーツの学生による交流試合を行っている。NSGグループもサッカー、バスケットボール、スキー、野球をはじめとする様々な種目で、学生の交流試合を通して相互理解を深めていこうという提案がなされた。極東国立体育大学はロシアでも有数のスポーツ大学であり、サンボなどのマイナー・スポーツも強く、スポーツビジネスなどで協力できる可能性は大きいと感じた。

事業創造大学院大学で高度なビジネスの知識を学び、そこで得た語学力と国際性に富むグローバルな人的ネットワークを仕事に生かしてほしいと考える。できるだけ多くの国々から、多くの優秀な人材に入学してもらい、学内にグローバルな人的ネットワークを形成し、その後のビジネス活動に活用できるようになってほしい。今後も、人的ネットワークを世界へ広げ、グローバルなビジネスを展開する基盤を事業創造大学院大学に構築できればいいと考える。これから日本をグローバルビジネスで元気にしていこうではありませんか!



やってやるさ!!



前田 淳
MAEDA, Makoto
株式会社ハードオフコーポレーション
平成19年度入学

千葉県船橋で勤務していたときにその話はやってきました。事業創造大学院大学? つまり勉強するのか? 日々の業務に忙殺されていた3年前の私ならあまり関心がなかったと思います。しかし今回は違いました。この3年間、事情により会社を離れていた時期もあり、身分も店舗責任者→アルバイト→また一般スタッフと一般のサラリーマンが決して歩まないような道を歩んできました。そのおかげか、昔と違い余裕を持って様々な視点で店舗運営を捉えることができました。人間的にも少し成長したと思います。しかし、まだまだ自分の独学では全然足りないし、さらにもっと体系的に経営を勉強して会社で将来役立てたいです。どうしたらいい? 都心に近いし自腹でセミナーに通おうか? なぜか野望(妄想?) だけが先走っていたときにタイミング良くこの大学院の話がやってきました。しかし話が唐突だったので最初は返答に困りました。こう

いうシチュエーションになると私はいつもの受身で奥手な人間になってしまいます。だが会社からのこんなチャンスはもう2度と巡ってこないだろうし、ここは思い切って、やってやるさ!! で入学を決めました。

入学してから、学生とサラリーマンの両立がかなりしんどいことを実感しました。しかしその「しんどい」を「充実感」に変えられるほど、どの講義も充実しています。それだけではありません。各地より選りすぐりの精鋭がこの大学院めがけてやって来ます。凡人である私がこのような方々と交流する機会が得られるのも貴重な経験です。

最後にこの貴重な経験を得る機会を与えてくれた会社に感謝します。必ず会社、そして社会に貢献できる人材になるよう頑張ります。そして皆様、私はまだまだ若輩者で至らない点は多々あるかとは思いますが、お付き合い何卒よろしくお願ひ致します。

新しいことを創造できる人間に

今までの自分にとって、学校や社会に与えられたものが「正しいもの」でした。受身でいても生きていくのに困らない日本の中で、「ただ生きている自分」を感じるようになりました。そして、いつの頃からか、「何かやってみたい」「一度しかない人生で挑戦することを忘れたくない」という思いが、強く自然に自分の中に芽生えました。

しかし、一体何をどうしたらいいのか、わからないまま時間が過ぎていきました。その中で出会ったのが「事業創造大学院大学」です。そこは、名前の通り「創り上げていくこと」を主眼においた実践的なカリキュラムを展開し、あらゆる人々との出会いを持てる場所でした。ここで何か見つけられるのでは...ここに賭けてみよう! という思いで入学を決めました。

私のテーマはこれからの医療・保健・福祉の分野において活躍できる人間になることです。

私は、今まで医療の現場にいました。その

中で、医療の現場には、サービス面、効率性、顧客満足度等において、もっと改善すべき点があると感じてきました。そのような点から見ても、ビジネスや事業創造の視点を学ぶことは必要であると思います。ただでさえも、病気の介護は苦しみ、悲しみに満ちています。それは身体的なことだけではなく、精神的、社会的な痛みを伴います。少しでも、病気で苦しむ人が少なく、健康に、幸せに過ごすことが出来るような社会になるよう努力していきたいです。

私は、経済やビジネスについては全くの素人なため、授業を難しく感じることは多々あります。しかし、全てが新鮮で、魅力的なものです。一つ一つの学び・出会い・挑戦が自分の可能性を広げていていっているように感じます。これから、この学校で学びを深め、いろいろな可能性を模索していく中で、具体的な「何か」を創り上げていく力を身に付けたいです。



大友 淑子
OHTOMO, Yoshiko
平成19年度入学

客員教授特別講義

『客員教授特別講義』で幅広い経営の視点を学ぶ

本学では、高い専門性や豊富な経験を有する指導陣に加え、それぞれの業界の第一線で活躍中のビジネスのプロフェッショナルの方々に客員教授として就任いただいております。通常授業に加え、実務の第一線で活躍されている客員教授の方々の特別講義により、各業界で成功された方々の経営の視点や考え方を感じ取ることができます。



客員教授特別講義 開講実績

【平成18年度】			【平成19年度】		
6月10日	株式会社フラネット 代表取締役社長	玉生 弘昌氏	4月7日	株式会社雪国まいたけ 代表取締役社長	大平 喜信氏
6月17日	ユニー株式会社 特別顧問	西川 俊男氏	4月14日	株式会社プロデュース 代表取締役社長	佐藤 英児氏
8月26日	株式会社プライム 代表取締役社長	田端 一宏氏	4月14日	びあ株式会社 代表取締役会長兼社長	矢内 廣氏
9月2日	株式会社ユニカフェ 代表取締役社長	大武 浩幸氏	8月4日	ジャーナリスト/コンサルタント	上村 孝樹氏
9月2日	株式会社ネクシイズ 代表取締役社長	近藤 太香巳氏	9月22日	エン・ジャパン株式会社 代表取締役社長	越智 通勝氏
9月9日	株式会社インボイス 代表取締役社長	木村 育生氏	10月6日	佐藤食品工業株式会社 代表取締役社長	佐藤 功氏
9月30日	株式会社エイチ・アイ・エス 取締役会長	澤田 秀雄氏	10月6日	日本ラッド株式会社 代表取締役会長	大塚 隆一氏
10月14日	株式会社ひらつみ 代表取締役社長CEO	平松 宏之氏	10月19日	サントリー株式会社 代表取締役会長 代表取締役社長	佐治 信忠氏
11月11日	株式会社ローソン 代表取締役社長CEO	新浪 剛史氏	10月27日	新潟総合警備保障株式会社 取締役会長	廣田 靖夫氏
11月25日	トヨタ自動車株式会社 取締役相談役	奥田 碩氏	10月27日	株式会社トップカルチャー 代表取締役社長	清水 秀雄氏
12月9日	株式会社ライフ技術研究所 代表取締役	石黒 義久氏	11月24日	株式会社コムリ 代表取締役会長 最高経営責任者	榎 賢一氏
2月26日	株式会社ハードオフコーポレーション 代表取締役会長	山本 善政氏	11月24日	株式会社YOZAN 代表取締役会長	高取 直氏
3月24日	インターウオーズ株式会社 代表取締役社長	吉井 信隆氏	12月1日	マックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社代表取締役社長CEO	松本 大氏

客員教授特別講義一般開放 今後の客員教授特別講義予定

開催日	開始時刻	客員教授
12月22日(土)	10:30~12:15 受付開始 10:00~	有限会社てっぺん 代表取締役 大嶋 啓介氏
平成20年 2月2日(土)	10:30~(予定) 受付開始 10:00~	株式会社アイロムホールディングス 代表取締役会長 森 豊隆氏
	14:00~(予定) 受付開始 13:30~	松井証券株式会社 代表取締役社長 松井 道夫氏

※今後も続々と客員教授による特別講義を開講する予定です。日程が確定しましたら、随時ホームページでご案内いたします。※資料請求をいただいている方へは、その都度郵送にてご案内いたしますので、ぜひ資料請求をしてください。

申し込み方法	住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記の上、本学ホームページ、E-mail、FAXにてお申し込みください。
URL ホームページ	http://www.jigyo.ac.jp/
e-mail	info@jigyo.ac.jp
FAX	025-255-1251

受講料
無料